

教育委員会だより

【教育委員会の構成】



教育長
岩佐 哲男



教育長職務代理者
進藤 孝



委員
松江 恒治



委員
眞貝 裕利子



委員
橋本 俊雄

【教育委員会について】

教育委員会では、区の教育に関する様々な施策を決めています。委員会は、教育長1名と委員4名で構成し、毎月1回定例会を開催しています。必要に応じて臨時会を開催することもあります。

【教育委員会の開催状況】

平成29年4月から9月までの

間に定例会を6回、臨時会を2回開催しました。主な議題は次のとおりです。

◆議事案件（12件）

・平成28年度江東区一般会計歳入歳出決算

◆報告案件（38件）

・江東区立有明西学園の開校準備状況について

・平成29年度新1年生の学校選択結果について

・学校施設の収容対策について

・江東区立図書館指定管理者制度導入に向けた検討状況について

◆協議案件（8件）

・平成29年度小学校教科用図書採択について（特別の教科道徳）

・通学区域の変更について

◆その他の活動

・江東区総合教育会議

・こうとうこどもスポーツデー

・小学校連合運動会等各種行事

【今後の教育委員会開催予定】

※平成30年1月11日現在

第1回定例会

1月26日(金)午前9時30分

第2回定例会

2月23日(金)午前10時

第3回定例会

3月27日(火)午前10時

開催日程、会議の傍聴については、庶務課庶務係までお問い合わせください。

庶務課庶務係

Tel (3647) 9170

Fax (5690) 6911

表彰等のお知らせ

優れた功績があった学校の先生や、学校活動を支援している団体が表彰されました。

●東京都教育委員会職員表彰

〔個人表彰・教職員〕

前本 大智

第三亀戸中学校主幹教諭

長塚 祐輔

南陽小学校主幹教諭

〔個人表彰・教職員（立志賞）〕

河瀬 正和

小名木川小学校教諭

●学校活動支援団体等に対する東京都教育委員会感謝状贈呈

〔学校教育活動支援部門〕

合唱団「みなみ」

（南砂中学校推薦）

庶務課庶務係

Tel (3647) 9170

Fax (5690) 6911



学校医等で医療及び保健衛生の向上に尽力し、功労顕著な方が表彰されました。

○文部科学大臣表彰

（学校保健及び学校安全表彰）

釜我 克正

第一砂町中学校学校歯科医

○文部科学大臣表彰

（学校給食表彰）

第五砂町小学校

○東京都功労者表彰

（福祉・医療・衛生功労）

小林 昭夫

第二大島小学校（学校医）

○東京都教育委員会表彰

（健康づくり功労）

永岡 喜久夫

亀高小学校外1園（学校医）

小山 主之

深川小学校（学校歯科医）

松江 一彦

第二亀戸小学校外2校・園

（学校薬剤師）

学務課給食保健係

Tel (3647) 9177

Fax (3647) 9053



遊びの大好き 2歳の大好き

第三大島幼稚園

第三大島幼稚園のこどもは、ものづくりが大好きです。遊びに必要なものを考え、試行錯誤しながら、様々な素材や用具を使ってつくり出します。ごっこ遊びで使う衣装や、家や海賊船など、思いついたものや、イメージしたものをづくり、それを使って友達と一緒に遊びます。

5歳児は、紙粘土と布を使い指人形をつくり、手にはめて動かし会話が始められます。「こんにちは」「今日、何して遊ぶ?」と言いつつ自然にお話ができていきます。「いいこと思いついた」と遊びに必要な物をつくり「人形劇ごっこしよう」と椅子を並べ、お客さんを招待する準備をします。



つくった人形で遊ぼう

このように、遊びの中で友達と共通の目的に向かって、考えを出し合い、工夫して表現することを楽しんでいます。

【心を育む「二南中」】

第二南砂中学校

二南中では、生徒が友達や家族または社会の中で、良好な人間関係を築くための資質向上を目標に、「心を育てる」教育を推進しています。昨年度まで区の研究協力校として、学校を挙げて道徳研究に取組み、道徳の授業を中心に、生徒の心を育ててきました。

「朝のあいさつ運動」は、毎朝、10名ほどの生活委員と生徒会の役員が交代で年間を通して行っています。保護者も日替わりで2名ずつ参加しています。このことが「あいさつの二南中」と言われる伝統を継承している原動力になっています。



朝のあいさつ運動と赤い羽根共同募金

更には、地域清掃、祭礼、防災訓練、幼稚園訪問等、地域との交流も積極的に参加しています。生徒たちは学校という枠を超え、「地域の中の一員」としてボランティア活動を行い、自己形成の励みとなっています。また、生徒会が中心になって「二南中お助けBOX」という意見箱を作成し、さらに良い学校にしていきたいための質問・意見・要望などを書いてもらい、学校生活を改善しています。

俳句づくりの

ワンポイント⑥

「冬の食べ物の俳句を作る」「寒の入り」「大寒」という言葉

を聞いたことがあると思います。今年の寒の入りは一月五日、寒が明けるのは二月四日（立春）です。この間が一番寒さが厳しいと言われています。

この寒い時期に食べるおいしい料理などは冬の季語として扱われています。

寄せ鍋、納豆汁、すきやき、おでん、湯豆腐、雑炊、鍋焼、焼き芋、鯛焼きなど

これらの季語を使って、冬の食べ物の俳句に挑戦してみましょう。

冬の食べ物の俳句を作る手順は次のとおりです。

①どの季語で俳句を作るかを決める。

②食べたときのことを思い出してイメージを確かめる。

・どこで食べたのか

・誰と食べたのか

・どんなふうに食べたのか

など

③「おいしい」や「うまい」など直接的な表現をなるべく避け、その時の様子を五七五の十七音で表す。

④俳句を作ったら、誰の俳句が一番おいしそうか、家族や仲間と話して合点してみる。

おでんを食べた後、おすめ小豆味、たいやき屋、おすめ小豆味、焼き芋をわねば光があふれでる

小学館「こども歳時記」より

学校支援課学校支援係

Tel (3647) 9307

Fax (3647) 9053

こども達を守るために

中学校PTAの親学「講演会」

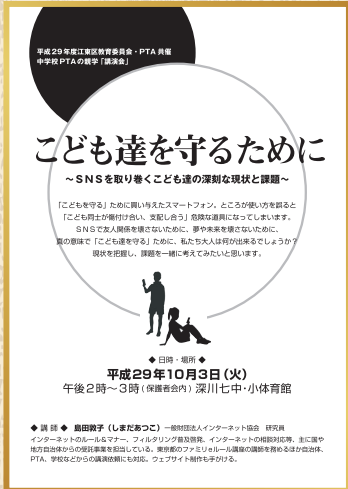
ここでは深川第七中学校 PTA からのご報告をご紹介します。
 テーマは「こども達を守るためにーSNS を取り巻くこどもたちの申告な現状と課題」です。SNS の誤った利用による生活リズムや交友関係の乱れ、危険情報の入手による非行を防止するため、保護者会の時間を利用して実施しました。

講義内容

- スマートフォン、タブレット、パソコン、音楽プレーヤー、ゲーム機などはインターネットに接続できる。「SNS は世界中の人と繋がっている」「書き込みは世界中から見られている」という認識を持つべき。
- SNS の公開範囲を設定しよう。公開範囲を設定しても、特定の誰かがコピーをして不特定多数に拡散する可能性はある。つまり、ネット上に一度アップした画像は完全には消去できない。
- インターネットでは、断片的な情報をつなぎ合わせると「個人」が特定できてしまう。実名・顔・学校名・進学先などわかるケースも見受けられる。ブログや掲示板、SNS にあまり細かなことを書かないこと。顔がわかる写真も載せないこと。友達の個人情報も載せないこと。

保護者からの感想

- 自分がインターネットに対して無知だとわかった。
- こどもを守るためにアンテナを張ることが必要だと感じた。
- 夜遅く LINE が入ってくる。家庭ルールを見直したい。



育てる人が学ぶときー家庭教育学級で学ぶー



この子はどうしてこんなことをするのだろう、こんなことを言うのだろう。
 こどもと暮らすなかで、戸惑ったり、悩むことは誰しもあることかと思えます。
 自分の育った環境にはなかったものが今の子どもたちの周りにはたくさんありますし、逆にどこにでもあったものがすでにないこともあります。こどもたちは今、親が育った環境とは異なったなかで育っているのです。
 教育基本法には「父母その他の保護者は、子の教育について

第一義的責任を有する」とあり、自治体は「家庭教育支援に必要な施策を講ずること」と規定されています。家庭教育学級はこれを受けて開設されています。
 幼児期から青年期まで、それぞれのステージによって保護者に求められる役割は異なります。区では教育委員会が主催するものの他に各校のPTAや父母の会が自主企画した家庭教育学級もあり、各校・園を会場に講師を招聘し、互いに話し合いながら、学びを展開しています。

問

TEL (3647) 9676
 FAX (5690) 6911
 庶務課社会教育担当



子育てをする保護者自身が学ぶことが大切です。
 小学校入学を控えた保護者、小学校中学年の少し難しい時期を迎えた保護者を対象とした学級もあります。

図書館と学校等との連携



区立図書館では、学校等と連携して、こどもたちが図書館に興味をもつきっかけづくりのため、学校訪問や職場体験などを実施しています。
 今回は図書館での取組みの一部を紹介します。

○学校訪問・図書館見学

図書館が小学校に出向き、一年生を対象に図書館利用ガイドやおはなし会を行い、こどもたちに読書の楽しさを伝えています。また、小学生の図書館見学を受入れ、館内見学のほか、図書館の利用の仕方などを分かりやすく説明し、図書館についての理解を深める機会を提供しています。

○職場体験

区内の中学校からの依頼を受けて、主に中学二年生を対象に職場体験を実施しています。体験に来た生徒に図書館の仕事を通して、こどもの読書活動の重要性を伝えています。

○平野児童館との「おたのしみ会」

深川図書館では、改修工事のため休館中の平野児童館と連携し図書館で行われている「おはなし会」と平野児童館の「ぷらつとこうさく」をコラボさせた合同企画「おたのしみ会」を月1回開催しています。テーマを決め、工作会とおはなし会に一体感を持たせるよう工夫しており、毎回多くの幼児・小学生が参加しています。

平野児童館と連携すること
 で、より多くの方に図書館をP

Rできるとともに、お互いに事業の参加者が増えるなどの成果が期待されます。
 今後も他施設と連携して、こども達が気軽に図書館を利用できるような企画を行っています。



平野児童館とのおたのしみ会

○深川第二中学校美術部の作品展示

今年度より、深川図書館では、深川第二中学校美術部の活動成果の発表の場を提供するため、館内のヤングコーナーに、生徒の作品を展示しています。毎回、テーマを決めて、思い思いに想像した季節感のある絵が描かれています。
 是非とも、作品の鑑賞にご来館ください。



深川第二中学校美術部の作品

TEL (3641) 0062
 FAX (3643) 0067
 深川図書館

読み聞かせボランティアの活動



区内の各図書館では、こどもの読書活動の推進を図るため、乳幼児から小学生を対象とした「おはなし会」を読み聞かせボランティアの協力をいただきながら実施しています。



出張おはなし会(江東こどもまつりにて)

読み聞かせボランティアとは？

読み聞かせボランティアは、読み聞かせを通して、こどもたちに本の面白さや読書の大切さを伝えていくことを目的に活動をしています。

現在、約200名の読み聞かせボランティアの方が図書館に登録をしています。

今年度も新規ボランティアを公募し、29名の方に登録をいただきました。



図書館おはなし会(深川図書館にて)

どんな活動をしているの？

図書館で行っているおはなし会のほかに、江東こどもまつりや学校訪問など図書館が関わる行事やイベントにも協力をいただいています。

また、読み聞かせボランティアの中で、「こども読書環境サポーター」に登録をしている方は、保健相談所、きつずクラブ、保育園など図書館以外の施設へも出張して、読み聞かせをしています。活動内容は、おはなし会で読み聞かせをするだけでなく、図書館のPRを含め、幅広くこどもたちへ読書活動の支援を行っています。

一方で、読み聞かせボランティア(サポーター含む)の方は、図書館が主催する講習会やボランティア同士による勉強会に参加することで、自らのスキルアップとボランティア同士のコミュニケーションを図って技術の向上に努めています。



勉強会での制作作品

TEL (3641) 0062
 FAX (3643) 0067
 深川図書館



TOKYO 2020
 オリンピック・パラリンピックを成功させよう!

